

と存じですか?!人工内耳



あしたのかわら版

一般社団法人
人工内耳友の会 [ACITA] 福岡支部

第28号

2022年1月25日(火)

一般社団法人

人工内耳友の会ACITA

福岡支部

eメール acita.fukuoka@gmail.com

発行責任者 樋口弘行

FAX 092-691-9341



年頭ご挨拶
支部長 樋口弘行

新年あけましておめでとう
ございます。

今年もコロナに翻弄された正月となりましたが、昨年より規制が緩和されましたので久しぶりに家族一同がそろっての新年を迎えられた方も多いことと思えます。しかも福岡県はあたたかな天気に恵まれた正月となりましたので初詣客やショッピングに出かける人も多く、少しずつ平常に戻りつつあるのを実感できます。

コロナ過のなかすべての分野で活動が制限されました。当然ACITAの活動も同じです。福岡支部でも計画していた行事は何もできませんでした。そんな中、オムロンで新年会を開催できないかと若手の会員が頑

張って企画しています。一時は収まるかにみえたコロナもオミクロン株が急拡大し一部の県でまん延防止等重点措置が適用されました。皆様のお手元にこのかわら版が届くころは非常事態宣言が適用されているかもしれません。

現下の状況では今年も活動は昨年同様に大幅に制限されそうです。

支部の活動は?

当分は直接顔を合せての活動は当分できないだろうと考えます。

そこで今年の新年会でも利用します。ズームとチャット、オンラインを使ったオンラインでの行事を考へていきたいと思えます。すでに支部役員の運営委員会もオンラインに切り替えて実施しております。これは場所に関係なく参加できます。移動の時間

と経費も必要ありません。但し、各人がインターネットの接続できる環境が必要ですよ。

子供会員を対象とした活動も必要では

今、私が一番しなげばならない、したいと思っていることがあります。それは未就学児を含む子供会員への活動です。

すでに成人された子供会員もいますが、現在支部には子供会員が四名おられます。今までの活動はどちらかと言えば大人向けの活動でした。それはそれで大事なことです。今後も続けていかななくてはならないと思えます。それに加えて保護者を含む子供会員を主体とした活動が必要ではないかと思っております。今や新規人工内耳装用者の半分は未成年者で特に未就学児が格段に増えて

おります。

子供会員は近く同じ人工内耳を装用した友達がいるでしょうか? お父さんお母さん方はわが子の人工内耳のことで悩んだり不安を抱いたり、あるいは悔しさを感じたりしたときに相談したり悩みを打ち明けたりする同じ境遇の保護者がほかにいるでしょうか?

(特別支援) 学校には先生がおられますがやはり同じ境遇同士で話すのは違うかもしれません。資料は少し古くなりますが平成二十九年に支部独自に調査した結果、福岡県内の約三七〇人の装用者のうち二〇〇人は未成年者です。今では三〇〇人を超えていると思われま

す。保護者の方には有職者が多いので一堂に会することは難しいかと思えます。オンラインを使えば問題はないだろうと思えます。子供の装用者やその保護者のためにもぜひ実現したいと思えます。ご協力をお願いいたします。

馬耳東風

▼世相を一字で表す「今年の漢字」は金に。東京五輪・パラは新型コロナウイルスが爆発的に広がるさなかの大会だった。日本は過去最多のメダルを。選手の奮闘を心から讃えたい。感染も抑え東京五輪・パラリンピックは大成功に終わった。▼澄み切った青空に吸い込まれていく特大ホームラン。一刀流で米大リーグの歴史を塗り替えた大谷翔平選手に日本中が沸いた▼毎年大雨が甚大な被害をもたらしている。川はあふれ、住宅地や田畑を浸した。このような規模の災害が毎年起こるようになった▼秋篠宮家の真子さまが結婚「小室真子」さんになった。小室家のトラブルで批判を浴び、心ない言葉に深く傷ついていた。それでも「君ありてこそ」の思いを貫かれ結婚の運びとなった。幸せを祈りたい▼北京二〇二二年冬季五輪が開催、選手の健闘と活躍を祈る。(下)



一般社団法人
人工内耳友の会ACIETA
会長 長井修一

新年のご挨拶

福岡支部の皆様、新年明けましておめでとうございます。支部会員の皆様にはお気持ちは新たに新年をお迎えるの事と存じます。

新型コロナウイルスが

未だ収まりません、のみならず昨年末からオミクロン株と云う変種が感染拡大してきました。いつになったら収束するのか見通しがたちません。早期に終息し世界中が元の生活に戻る日が来ることを願ってやみません。昨年、一昨年と通常総会の開催やその他の活動にも大きな影響をきたしました。貴支部におかれましては支部活動に於いて何かと制限がありご苦労をされている事と存じます。

ACIETAとして本年

は会員増強について重点的に取り組むたいと、幾つかの項目を事業計画に盛り込みました。理事會が率先して取り組みなければならぬ事は云うまでもありませんが、会員の皆様のご協力、ご支援、ご理解が必要とす。是非とも皆様のご協力をお願い申し上げます。今年ACIETA創立三十四年、一般社団法人に於いて五年になります。創立以来の「人工内耳に関する事をよくしよう」という基本方針は変わりません。今迄通りの活動も継続してまいります。末筆になりましたが、樋口支部長以下、福岡支部の皆様をはじめ、全国の会員の皆様にとって、この一年がより良い平和な年となりますよう、また、健康とご多幸を心より祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

みなさん、新年あけましておめでとうございます。二〇二一年の春より支部役員になりました福田由加里です。どうぞよろしくお願いします。

人工内耳を装着して三年目が過ぎ、私にも『できること』の幅が少しずつ広がりはじめました。まず、自分で電話がかけられるようになり、注文したり、ピザを注文したり、タクシー予約の電話をしたり、今までは、誰かに代わってもらわないうでできなかったことが、できるようになってきたことは大きな喜びでした！

わたしにできること
福田由加里

「ある程度は聞こえます」といふか伝えることが出来ませんでした。しかし、今では、人工内耳を装着したトリセツ(取扱説明書)を作り、周囲の方に「人工内耳を装着したらこんな風に聞こえています」とか「こんな風にしたら聞き取りやすいです」と説明ができます。自分の聞こえを話すことができるようになったことで、気持ちも楽になりました。最後に、人工内耳を装着して、音声というコミュニケーションが増え、私はたくさんの人とつながることができました。人工内耳の音声コミュニケーション、手話、筆談といったあらゆるコミュニケーションツールを使って、これからも人と人とのつながりや会話を楽しんでいきたいです。

私は看護師
頑張ってます！
山本美裕紀

人工内耳になって諦めていた聴診器が使えるようになった！私の周りには様々な難病をもっている仲間がいます。みなさん、周囲の方と同じようにできなくても工夫したり、自分なりのやり方で上手に生活してあります。そんな仲間の姿に、あきらめないことを教えてもらい、人



工内耳で使えるような聴診器を探しはじめました。私が人工内耳の手術をした八年前と比べると、人工内耳とつないで使えるものが増えていて驚きました。その中でもシェアアメディカル社の聴診器「ネクステート」は健聴時に聴いていた聴診音とほとんど変わらず感動しました。「また聴診できる！」と嬉しくて、早速STさんに聴診器用のマップを作ってもらいました。デジタル聴診器はオーディオケーブルで人工内

耳とつないで使っています。先日、患者さんの肺音の異常に気づくことができ、早期治療につなぐことができました。これからできることを探して頑張ります！

デジタル聴診器を使う山本美裕紀さん



九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科学分野 教授
九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 診療科長
中川 尚志

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

二〇二〇年初頭より始まった新型コロナウイルス禍ですが、そろそろ二年経とうとしています。ワクチンもかなり行き渡り、そろそろ飲み薬も認可されますので、もうしばらくの辛抱とみています。私は新型コロナウイルス感染症の患者さんを診る立場ではないので、医療関係者以外の方から、ご苦労様ですねと声をかけられることで逆に面映ゆい思いをしてみました。九大病院で新型コロナウイルスの対応は内科系医師が担っていますが、第四波の時はさすがに賄いきれず、療養ホテル勤務の割の当てが耳鼻科にもきました。このような時は率先しないといけないという責任者としての立場、コロナ禍と世の中が騒いでいるのに医療者として関わっていないという後ろめたさから、五月末、第四波ピーク前に療養ホテル勤務に行

きました。天神のホテルで療養者が多く、一七〇名を超えていました。ホテル内の要観察の二〇名近くを診察してまわりました。看護師さんによると、部屋はあちこちにウイルスが付着しているので、感染を恐れて部屋に行くことを拒む医師もいるそうです。しかし、ウイルスから自分を守るために防護服を着るのであれば、それを信用できなかつたら、そもそも診察が成り立たないです。部屋に行っただ方がこのように過ごされているかがわかるように、療養者の負担も少ないと考えました。福岡県は医師会と密な協力があり、症状に応じて、自宅待機、ホテル療養、入院と患者さんをはき分けて対応していました。このシステムのおかげでより感染者が多かった第五波でも混乱なく、医療逼迫を招かず乗り切っています。オミクロン株でホテル不足が報道されていますが、福

置は依然二〇棟を借切っていて、国全体のホテル不足にそのうちの二棟をあてています。新型コロナウイルスはただの風邪、インフルエンザと二緒たとも言われますが、新型コロナウイルスは周りに感染させる状態でも症状がでるまでに時間がかかります。軽症ですら、それなりの症状で、中等症以上は呼吸困難を伴います。最初の重症度に対する命名がわかったなど思っています。今年は新型コロナウイルスの心配が減ること、また、皆様にとりまして、幸多い年でありますよう祈念いたします。

あけましておめでとうございます。一昨年に引き続き、昨年も新型コロナウイルス感染症の流行に振り回されて大変な一年であったことと思います。ワクチンの普及や新しい生活様式の一般化により、我々の担当する筑後地区では医療崩壊をきたすまでには至らず、例年通りの外来・入院診療を行うことができているように思っております。



久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 助教(耳科学)
三橋 亮太

しかし、無症状や軽症の患者さんが初診で医療機関を受診する機会が減っているようで、胃がんや大腸がんなど消化管の癌の発見率が低下しているとニュースになっておりました。癌の発生率は変わらないうえ、早期であれば内視鏡での切除が可能で早期がんが進行し、症状が出現してから発見されているということを意味しています。これは、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の領域と比べて頭頸部進行癌の患者さんの割合が非常に多くなっています。

舌、咽頭や喉頭は『食べる』や『しゃべる』を司る重要な臓器です。進行癌の場合にはこれらを手術で切除したのち、小腸や筋肉などを用いて作りなおす必要があり

ます。しかし、残念ながら新しく作り直したものは元の機能を備えているわけではありません。食事やコミュニケーションにおいて大きな機能低下をきたしてしまいます。例えば声帯を含む喉頭を切除すると声が出ることができませんし、食べ物を通り道も代用品です。で、今まで通りの食事は困難になります。

最近の傾向として、息が苦しい、あるいは食事が通らなくなつてから受診する患者さんが多くなっています。体力の低下した状態で大きな負担のかかる治療を受けねばならず、治療後の経過も決して良いものではありません。

久留米大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科では早期の頭頸部癌に対しては経口的顕微鏡下切除を行い、良好な治療成績と機能温存を両立してきました。これは、上部消化管内視鏡検査などにより早期で診断がつくことが前

提であり、症状が出現してからの発見では残念ながら適心とはなりません。頭頸部癌の分野では免疫チェックポイント阻害剤や光免疫療法などの新しい治療法に大きな期待が集まっております。しかし、あくまでも根治治療ができない患者さんに延命効果を期待して行われる治療であり、癌が治るといふものではないので、やはり、早期発見・早期治療が最も重要です。是非とも皆様の周りの方々には検診を今までとお受けられることをお勧めしていただき。頭頸部癌の主なリスク因子は飲酒や喫煙であり、はつきりしているため、検診による早期発見が可能な疾患の一つです。これらの習慣がある方々には特にお願ひします。

最後に、この一年が皆様にとって素晴らしい一年になりますようにお祈りし、私からの挨拶とさせていただきます。



福岡大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

主任教授 坂田俊文

新年あけましておめで... とうございませす。本年も... よろしくお願い致します。

伝えたい相手の気持ちに... 配慮しながら意思表明し、... 建設的な対話をする技術

排他性を助長するもので... すが、現在の社会情勢を... 俯瞰すると、政府が謳う



産業医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教授 鈴木秀明

新年あけましておめで... とうございませす。一昨年... に引き続き、昨年も新型

もほとんどの人がマスク... を着用しています。ここ... ろが難聴を持った人たち

いからでしょう。しかし... このボタン型体外装置に... は落とし穴があつて、先



福岡支部のホームページも宜しく願ひします。



福岡市立こども病院 耳鼻いんこう科
科長 柴田修明
しばた しゅうめい

新年あけましておめで
とうございます。新型コロナ
ウィルス感染症によっ
て世界が一変してから早
二年が経とうとしていま
す。ワクチンの普及によ
り、このまま終息するか
に思えた矢先、新たな変
異株オミクロン株によっ
て世界では再び感染が拡
大しており、日本も多分
またその波に飲み込まれ
ることでしょう。世界は
すぐには元通りには戻ら
ず、我々は当面はミエコ
ロナの時代を生きていく
ことになりそうです。

さて、ミエコロナの時代、
生活様式も様変わりしま
した。我々医師は在宅勤
務こそありませんが、院
内の会議はすべてズーム
でのオンラインとなり、
学会・研究会もほぼオン
ラインとなりました。会
合、親睦会、飲み会の類
は消滅しました。診療を
除くと、他人と顔を合わ
せて話す機会は激減した
といつてよいと思います。
このような状況は難聴の
方にとつてはより辛い
ではないでしょうか。た
だでさえ音質が悪くなり
がちなオンラインでの会
議等は人工内耳、補聴器
の装用者にとつてはあま
りよい環境とはいえませ
ん。当院でみている難聴
のお子さんたちについて
も同様です。コロナによ
り療育の機会が減少した
り、こどもたち同士が直
接触れ合う機会も減少し
ているようです。またお
母さんたちも同様の方た
ちと集まる機会がなくな
り、一人で不安を抱え込
んでおられる方が増えて
いるようにも思います。

こうしたなか始まった福
岡県乳幼児聴覚支援セン
ターはこうした方々の不
安の解消の一助になるの
ではないかと期待してい
ます。また新生児聴覚ス
クリーニングの法制化、
義務化の話も進んできて
おり、先天難聴児の取り
こぼしのない早期発見、
早期療育開始に繋がるの
ではないかと思っていま
す。
世界は元通りには戻らな
いとしてもよりよい世界
となるように、また会員
の皆様の一層のご発展と
ご健勝を祈念し、ご挨拶
とさせていただきます。



福岡市立こども病院 (ホームページより)

Member's Profile (24)

いち 浩 さん
い ち 浩 さん
こう 浩 さん
なが 浩 さん
すな 浩 さん
やす 浩 さん
安 永 浩 さん
(朝倉市 在住)



明け
まして
おめで
とうご
ざいま
す。二
〇一九
年に入
会させ
ていた
だいた
安永と
申しま
す。よ
ろしく
お願
いしま
す。

私の耳
の状態
について
ですが、二
〇一〇
年に左耳に突発性難聴を
発症し聴力が七〇デシベ
ル前後となりました。通
院するも全く改善しませ
んでしたが、その時はま
だ右耳があるから大丈夫
と思っていました。その
後、二〇一三年に右耳も
突発性難聴で聴力が六〇
デシベルとなり、一旦は

明け
まして
おめで
とうご
ざいま
す。二
〇一九
年に入
会させ
ていた
だいた
安永と
申しま
す。よ
ろしく
お願
いしま
す。
五〇デシベルまで回復し
ましたが半年もたらずに
ほとんど聞こえなくなり
ました。以来、左耳に補
聴器を使用してきました
が、電話も満足に聞き取
ることができませんでし
た。
当時は学習塾の講師をし
ており人と接することが
中心だったので、聞こえ
づらさにストレスを感じ、
人と接することが少ない
仕事に転職しようと思い
離職しました。しかし、
その後の転職先も人と接
することが多く聞こえに
不安を感じていましたの
で、病院の先生の勧めも
あり、二〇一八年五月に
久留米大学病院で右耳に
人工内耳の手術をしまし
た。手術に対する抵抗感
がかりましたが、聞こ
えがよくなることへの期
待で決断しました。手術
の日も決まり準備をして
いたところ、入院の三日
前に左耳がほとんど聞こ
えなくなりました。不安
でしたがそのまま人工内
耳の手術を受けられたこ

とで、普通であれば両耳
が聞こえないため仕事へ
の影響があったと思いま
すが、二週間の入院のみ
で退院後はほとんど影響
なく仕事ができることが
不幸中の幸いでした。左
耳は聞こえなくなりました
が、右耳の術後の経過
は問題なく、また、リハ
ビリを通して細かく聞こ
えの調整をしていただい
ているおかげで、補聴器
を付けていたところとは比
べ物にならないくらいよ
く聞こえるようになりました。
現在は新型コロナウイルス
ウィルスの影響でマスク
越しに会話をしなければ
なりません。人工内耳
のおかげでマスク越しで
も何とか理解できていま
す。音楽についても以前
聞いていた音程に近づい
てきており、運転中など
はよく聞いて楽しむこと
ができるようになりました。
新型コロナウイルスの影響が落ち
着き、以前の生活に早く
戻ることを願っていま
す。今後ともよろしくお
願ひします。



メドエルの新しいインプラントは
 マグネットを取り外さずに
 3.0テスラのMRI撮影が可能



Made for easyMRI
 MED-EL Hearing Implants



hearLIFE

選任製造販売

MED-EL

メドエルジャパン株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20
 お茶の水ユニオンビル5階

TEL: 03-5283-7266 (代表) FAX: 03-5283-7265

<http://www.medel.com/jp/>

メドエルジャパン カスタマーサポートダイヤル



0120-30-4133

受付時間: 平日午前9時~午後5時
 (土日祝日、年末年始は休業いたします)

e-mail info@mlj-direct.com

FAX 03-5283-7694

部品購入専用WEBサイト メドエルダイレクト

<http://mlj-direct.com/>

人工内耳の 公費助成について

樋口 弘行

本部では人工内耳対外器（以降対外器とする）についても補聴器と同じ扱いにしてほしいと永年要求し続けております。補聴器は補装具として認められ耐用年数は五年と定めておりますが対外器についてはその定めがななく修理不能とメーカーが判断した時はじめて健保適用で更新ができます。言い換えれば補聴器は五年使えば新しい機種に交換できるが対外器は壊れるまで使いなさいということでしょう。

このため各支部では体外器の更新費用、電池・充電器代等の費用をそれぞれ自治体に助成要望しております。その結果対外器では二〇万円から一〇〇万円の助成が認められていてるところがあり耐用年数も補装具に倣って五年となっています。電池代等についてはお

むね二〜三万円が認められています。

（会報に毎号掲載）

財源としては厚労省の曖昧さもあって日常生活用具給付事業に含まれていくところが多くあります。ところが平成三十一年三月に厚労省から「人工内耳は健保対象であり日常生活用具給付事業としての国庫補助も対象外」という旨の通知が全国の自治体に出されました。また汎用品の電池は日常生活用具にはならないとされています。

これは「実施するならば前で作ってね！」ということですが、「壊れたら補装具費用で修理費が出る、修理不能であれば健保で更新できる、電池は対象外」であればこの助成制度の必要はないと考える自治体も出てきてもおかしうありません。

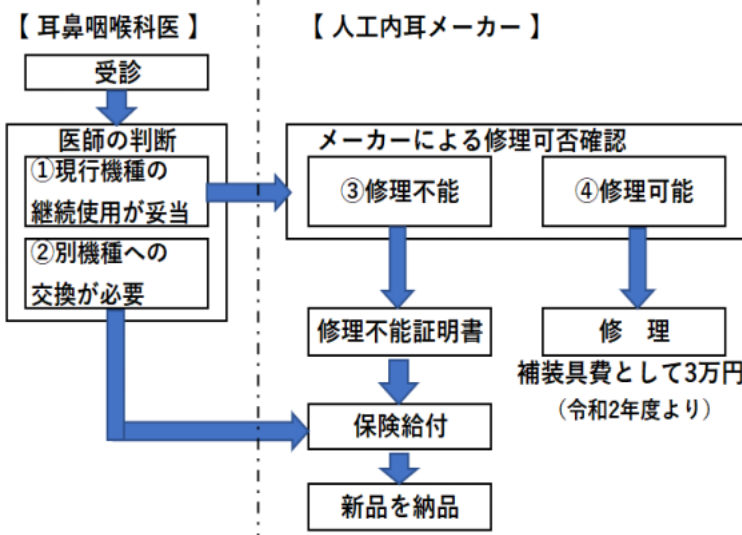
現に福岡支部管内でも対外器助成一〇〇万円がいつの間にか廃止されました。

私たちが今なすべきことはこれが雪崩現象にならないようにすることです。特にすでに実施されている自治体にお住いの会員は「対外器の耐用年数が五年になるまで現在の制度をひきつづき実施してほしい」と強く求めてください。また電池については人工内耳用の電池は汎用品の電池とは違うということを理解していただくよう説明願いたい

思います。

本部としては友の会設立以来、厚労省に要望と交渉を繰り返して、今の制度まで成果を上げてもらいました。引き続き頑張ってもらいたいと思います。そのバックに私たち会員〇〇〇人余りとここ数年増えていないようです。一人でも会員が増えるよう私たちが努力しましょう。

対外器破損の場合のフロー図



あなたも 要望しませんか

NHKに三件要望メールを送りました。同様の要望が全国から沢山あったのだと思います。三件とも実施されました。

（その1）民主党政権時代に首相記者会見時に手話通訳が導入されました。しかし画面をアップしたリカメラを振った場合には手話通訳者が写りません。「聴覚障害者のための手話通訳なら埋め込み画面にすべきではないか」（その2）BS放送で映画を放送しています。洋画は字幕がありますが当時の邦画には字幕がありませんでした。「邦画にもぜひ字幕を付けて！」（その3）大相撲の力士名が読めない。「始めの取り組み力士名表示にフリガナを付けて欲しい」阿武咲、阿炎、逸ノ城、天空海などの力士名を何も聞かずにその通りに読める人がいるのでしょいか。皆様お気づきでしょうか。

うが取組中に画面左上部に東西の力士名にフリガナを付けてくれるようになりました。

会員の動き

正会員 三三名
賛助会員 七名
合計 四〇名です。

お知らせ

匿名希望の方から寄付金を頂きました。支部活動に有効に活用させていただきます。

コロナの影響で印刷物としてのかわら版の発送作業ができませんので、とりあえず支部のホームページに掲載し他支部会員にはメールにて案内いたします。

編集後記

ともかくにも新型コロナが終息し再び活動ができるようになることを祈るばかりです。



Hear now. And always

コクレアは、人々が何を必要としているかを考えて技術革新に努めています。それは、グレアム・クラーク教授が自身の父親が難聴で苦勞する姿をきっかけに、世界初のマルチチャンネル人工内耳の開発を始めた時から受け継がれています。

そのため、私たちの製品・サービス・サポートは常に進化・向上し続けています。コクレアは人工聴覚器のリーディングカンパニーとして、より良い聴こえと革新的な最先端技術を提供するために最大限の企業努力を図って参ります。

www.cochlear.com

難聴の治療については、医療従事者にご相談ください。聴こえや結果は着用者によって異なりますので、医療従事者が装着結果に影響を及ぼす可能性のある要因についてアドバイスします。使用については必ず取扱説明書をお読みください。国によっては販売されていない製品があります。お近くのコクレアの担当者に連絡して製品情報を確認してください。Cochlear、コクレア、「Hear now. And always」、楕円形のロゴ、および、[®] または [™] の記号の付されたマークは、別段の記載がない限り、Cochlear Limited の商標または登録商標です。
©Cochlear Limited 2020. Japanese translation of D1772999 V1 2020-08



Cochlear[®]
Hear now. And always